

私の学習法

鈴木明憲

1.はじめに

さて、気付けば前期期末試験が近づいてまいりました。好きか嫌いかに関わらず、「勉強しなさいよ」と周りから言われることと思います。そこで、今回は**社会の勉強の考え方**についてお話しさせていただきます。しかし、勉強方法は人それぞれで、絶対にコレが良い!!といえるものはないと考えるので、参考程度に読んでくれればと思います。

それでは、本論へと進みたいのですが、その前に大切なことを1つだけ…。**これを読めば社会の点数が上がるわけではありません**。もしかしたら上がるかもしれませんが。上がるかどうかはあなた次第です。そのための手助けとして、活用してくれれば嬉しいです。

2.社会の勉強方法(鈴木案)

○方法是人それぞれ○

まず始めにことわらなければならないのは、ここで話すことはあくまで役に立つなど思った方法です。全ての人に役に立つかどうかはわかりません。世の中にはたくさん方法があります。その全てが誰かには役にたったのかもしれませんが、誰にでも役にたつ方法ではありません。**最終的に自分に合った方法を見つけることが求められます**。考え方さえ間違っていなければ、その方法は問題ではありません。暗記カードを作るもよし。ノートに何度も繰り返し書くのもよし。一問一答問題集をこなすのもよし。教科書や参考書などを読むのもよし。資料集のグラフや写真に思いをはせるのもよし…。とにかく、**いろいろと試してみ、失敗を繰り返しながら自己なりの勉強方法を身につけて**いってください。

○「おしゃべり」してください○

さて、本題に入ります。社会の勉強ですることは、

①知識を身につけて→②それらをつなげて→③表現することが大切だと考えています。

では、どうやったら効率よくこれらのことを行うことができるのか。提案したいのは「おしゃべり」です。「おしゃべり」には2つのタイプがあります。1つは「**ひとりでおしゃべり**」で、もう1つは「**他人とおしゃべり**」です。

「ひとりでおしゃべり」とは、要するに独り言です。ワークを解きながら、教科書をノートにまとめながらそこにいるかもしれない誰かに「おしゃべり」してください。この方法の利点・活用方法は2つあります。1つは、**見て・書く作業**をしているときに、**読む・聞く作業**を追加してみてください。「音読」と言い換えることもできます。せっかく、たくさんの感覚機能を持っているので、どうせならば**たくさんの感覚を利用**したほうが頭に入りやすくなると思いませんか？例えば、「京都では歴史的な景観を守るような町作りをしている」と、ノートにまとめようとする時、黙って書いていると、いつしか気分は「今日は寒いなあ・・・」「試験終わったらどうしようか・・・」といった方向に流れがちです。そこで、**感覚をフルに活用**すれば、つまり**目・手・口・耳**を動員すれば、頭の中に入ってくる**情報量も増え、知識が定着しやすくなる**かと思います。

もう1つは、**思い出し「おしゃべり」**です。ひとりで道を歩いている時、お風呂に入っている時、ふとした

時に、ある key word を思い浮かべて下さい。そして、その key word からストーリーを作って語って下さい。例えば、アイヌ。「アイヌ。北海道、昔の蝦夷地に住んでいた。いや、今も住んでいる人たちか……。江戸時代には松前藩と貿易をしていたな。アイヌ語が由来の地名が今もたくさん残っているし、アイヌの文化を残そうという取り組みもあるみたい。具体的には…わからない。ただ、明治になって、本州やから開拓の人たちがたくさん入ってきて、アイヌの人は厳しい思いをしたんだよな。あれ、なんかロシアとその辺で条約結んだけど…日露修好条規？あら？まあ、そんなこんなで国境を決めて、日本の範囲を決めたんだよな。そういや、その辺はいろいろ条約やら条規を結んでるよな。例えば、日米…(続く)」といった具合に色々なことを**思い出して、それらをつなげてみる**ができると思います。そして、当然わからないことができます。なので、**自分は何がわかっていないのかがわかる**良い機会にもなるでしょう。大切なことは、**書いて・読んでわかったつもりになっているものをここで確認することができる**ということです。(ただし、おしゃべりする時と場所と状況は考えてね)

○「他人とおしゃべり」○

そして表現力を UP させるのに最適なのが「**他人とおしゃべり**」です。教科書片手にワイワイガヤガヤ問題出し合ったりするのもよし、**最終的には他人に説明できるようになれば試験で怖い物などありません**。例えば、**何かテーマを決めて、いくつか単語を並べ、それらをつないでお互いにストーリーを作ってみてください**。他人が理解できるようにお互いのストーリーを説明し合い、それらに対してわからないことを質問しあうと、自分では抜け落ちていた知識や視点、表現方法などが鍛えられると思います。**他人に理解されるようにするためには、必要最低限の知識があり、それらを結ぶ接続の言葉があり、日本語として意味の通る文を作り出し、表現しなければなりません**。

相手に伝わるようにしゃべるのは、すごく難しいことです。教科書やらに書いてあることをそのまま読んで伝わりません。いかに、**自分の言葉に置き換えて理解し、表現**することができるか。これこそが**高得点への道**になるかと思います。

3.最後に

私は、中学生のときに教師という仕事を目指すようになりました。しかし、私自身大変面倒くさがりで、長い時間集中して勉強することが苦手でした。そこで、「先生にはなりたい。でも、どうしたら短い時間で効率よく学習できるか」と考えたときに、たまたま思いついたのがおしゃべりによる学習方法です。一人でべらべらと呪文のようにつぶやきながら問題集を解いたり、友達とクイズ番組のように問題を出し合ったり、おしゃべりを通して言葉をつなげ、ストーリーをつくるということを意識しながら勉強しました。

最初に書いたとおり、この方法が必ずみなさんの得点アップにつながるとは限りません。なので、一つの参考程度にしてもらえたらと思います。結局、**成績を上げたければ自分で努力する他ありません**。何より大切なのは、目標に向かって努力を続けることだと思います。自分なりの学習方法を見つけて、目標が達成できるようがんばってみてください。